

令和5年度 シラバス

| | | | | |
|-------------------------------|---|---------|-------------|----|
| 学 科 ・ 学 年 | ホテル・ブライダル学科 | | | 2年 |
| 科 目 名 | 国際文化演習 | 科 目 区 分 | 一般科目 ・ 専門科目 | |
| 開 講 期 | 前期 ・ 後期 ・ 通年 | 担 当 教 員 | 土師あやか | |
| 時 間 数 | 前期:40時間 | | | |
| 科 目 の 目 的 と 講 義 内 容 | グローバル社会が進む中で、インバウンド観光客が年々増加傾向にある。日本人にはなじみが薄い信仰、戒律、儀礼に基づく宗教について理解することを目的としている。 | | | |
| 目指す検定・資格 | 特になし | | | |
| 指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と | 三大宗教（キリスト教、イスラム教、仏教）に触れ、宗教の多様性の理解を深める | | | |
| そ の 他 | | | | |
| | 前 期 | | 後 期 | |
| 授 業 の 概 要 | 各宗教の多様性について必要な知識を中心に授業を行う | | | |
| 到 達 目 標 | ユダヤ教、キリスト教、イスラム教、仏教、ヒンドゥー教について理解している | | | |
| 成 績 評 価 方 法 | 期末試験（90%） 提出物（5%） 出欠席（5%） | | | |
| テ キ ス ト ・ 副 読 本 | 「三大宗教の読み方」 茂木 誠 著 | | | |

令和5年度 シラバス

| | | | |
|-------------------------------|--|---|-------------|
| 学 科 ・ 学 年 | ホテル・ブライダル学科 | | 2年 |
| 科 目 名 | ブライダルプロデュース I | 科 目 区 分 | 一般科目 ・ 専門科目 |
| 開 講 期 | 前期 ・ 後期 ・ 通年 | 担 当 教 員 | 坂本 恵 |
| 時 間 数 | 前期:126時間 | 実務経験：ウェディングプランナー・ドレスコーディネーターなど様々な角度からサービスに携わってきた経験を活かし、学生に業界の魅力や必要な知識を講義する。 | |
| 科 目 の 目 的 と 講 義 内 容 | イベントプロデュースで培った企画運営の基礎知識を基盤に、ウェディングスペシャリストとしてブライダル商品の企画提案と運営を行う。世界の現状にあうパーティ提案を行う。オンラインを使ったミーティングなども利用し、チームで仕事をする（準備、本番）重要性を体感するとともに業務の仕方を学ぶ。 | | |
| 目 指 す 検 定 ・ 資 格 | | | |
| 指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と | 表現ルールの中で表現すること（お客様が求めている事を表現）、自分達の不足分を課題テーマとし、結婚式表現をすることで自分達を見つめ直しながらプロとしての素質向上に繋げていく。業務の進め方をしっかりと習得し、軌道修正をしながら最後は感動体験が出来るように指導していく。 精神的に人間的に大きく成長し、即戦力として通用する人材構築を目指す。 | | |
| そ の 他 | | | |
| | 前期 | | |
| 授 業 の 概 要 | イベントプロデュースを基盤とし、表現方法を結婚式演出で行う。 専門知識として習得した海外・日本の結婚式スタイルを実践、表現する。 | | |
| 到 達 目 標 | チームで仕事をする重要性を体感する。 業務の進め方を理解し、報連相を行う中で主体的に動けるようになる。 | | |
| 成 績 評 価 方 法 | ・ 期末試験（65%）、提出物（10%）、 授業態度（15%）、他己評価（5%）出欠席（5%）で評価する。 | | |
| テキスト・副読本 | なし | | |

令和5年度 シラバス

| | | | | |
|-------------------------------|--|---|------|--------|
| 学 科 ・ 学 年 | ホテル・ブライダル学科 | | | 2年 |
| 科 目 名 | ブライダルプロデュースⅡ | 科 目 区 分 | 一般科目 | ・ 専門科目 |
| 開 講 期 | 前期 ・ 後期 ・ 通年 | 担 当 教 員 | 坂本 恵 | |
| 時 間 数 | 後期:156時間 | 実務経験：ウェディングプランナー・ドレスコーディネーターなど様々な角度からサービスに携わってきた経験を活かし、学生に業界の魅力や必要な知識を講義する。 | | |
| 科 目 の 目 的 と 講 義 内 容 | 集大成として2年間の課題やテーマを結婚式の儀式や演出にて表現する。またチームで仕事をする（準備、本番）重要性を体感するとともに業務の仕方を学ぶ。 | | | |
| 目指す検定・資格 | | | | |
| 指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と | 表現ルールの中で表現すること（お客様が求めている事を表現）、自分達の不足分を課題テーマとし、結婚式表現をすることで自分達を見つめ直しながらプロとしての素質向上に繋げていく。業務の進め方をしっかりと習得し、軌道修正をしながら最後は感動体験が出来るように指導していく。 精神的に人間的に大きく成長し、即戦力として通用する人材構築を目指す。 | | | |
| そ の 他 | | | | |
| | 後 期 | | | |
| 授 業 の 概 要 | 新郎新婦の思い、国際融合を目的とした結婚式の商品企画を行う。プランナー、ドレスコーディネーター、サービススタッフといった職務理解をしながら結婚式の商品企画および個人プレゼンをし、代表商品の運営を行う。 | | | |
| 到 達 目 標 | 代表商品をチームとして創り上げ、業界内で仕事をする方法を学び、プロとしての考え方や動きが出来る事で即戦力として通用出来る人材構築をする。 | | | |
| 成 績 評 価 方 法 | ・ 期末試験（65%）、提出物（10%）、 授業態度（15%）、他己評価（5%）出欠席（5%）で評価する。 | | | |
| テキスト・副読本 | なし | | | |

令和5年度 シラバス

| | | | | |
|-------------------------------|--|---|------|--------|
| 学 科 ・ 学 年 | ホテル・ブライダル | | 学科 | 2年 |
| 科 目 名 | ホテル・ブライダル演習Ⅱ | 科 目 区 分 | 一般科目 | ・ 専門科目 |
| 開 講 期 | 前期 ・ 後期 ・ 通年 | 担 当 教 員 | 坂本 恵 | |
| 時 間 数 | 前期：44時間／後期：46時間 | 実務経験：ウェディングプランナー・ドレスコーディネーターなど様々な角度からサービスに携わってきた経験を活かし、学生に業界の魅力や必要な知識を講義する。 | | |
| 科 目 の 目 的 と 講 義 内 容 | 専門科目内で修得しきれない実践技術を修得する。 現場のプロからの講義により現場で求められている人材も含め技術も知ることで、働く意識向上にもつなげる | | | |
| 目指す検定・資格 | | | | |
| 指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と | 現場のプロからの技術伝授。科目担当は動機づけ、振り返りをさせ技術定着を図る受け身ではなく主体的に修得する | | | |
| そ の 他 | | | | |
| | 前 期 | 後 期 | | |
| 授 業 の 概 要 | ホテル・ブライダル業界への就職活動・就職後においても活かせるよう、印象アップ・話し方・営業ロールプレイを行い習得できるよう授業を行う。 | ホテル・ブライダルの各職種に就職した際に即戦力として活躍できるよう、現職の外部講師を講話いただく。 | | |
| 到 達 目 標 | サービス業界で必要なマナー実践とともにお客様に分かりやすい言葉で話せるよう実践する。 | サービス業界で求められる人材を再認識することに加え、就職着任後に向け準備する。 | | |
| 成 績 評 価 方 法 | 期末試験 (65%) 実技評価 (30%) 出欠席 (5%) で評価をつける | 期末試験 (65%) 実技評価 (30%) 出欠席 (5%) で評価をつける | | |
| テキスト・副読本 | なし | なし | | |

令和5年度 シラバス

| | | | |
|-------------------------------|--|---------|-------------|
| 学 科 ・ 学 年 | ホテル・ブライダル学科 | | 2年 |
| 科 目 名 | 情報リテラシーⅢ | 科 目 区 分 | 一般科目 ・ 専門科目 |
| 開 講 期 | 前期 ・ 後期 ・ 通年 | 担 当 教 員 | 松田 満寿美 |
| 時 間 数 | 前期：30時間 / 後期： 時間 | | |
| 科 目 の 目 的 と 講 義 内 容 | 表計算ソフト(Microsoft Office Excel 2016)の基本的なしくみと特徴（計算・グラフデータベース等）を紹介しながら、情報の整理・加工方法などの基本的な操作方法を学ぶ。 | | |
| 目 指 す 検 定 ・ 資 格 | サーティファイ主催 Excel 表計算処理技能認定試験 3級 | | |
| 指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と | 練習問題、模擬問題を順番にこなしていく。初めて使用する機能や関数が出てきた場合には、プロジェクターを使用して解説を行う。 学生同士で聞き合える環境づくりに徹し、手がまわらない部分を補う。 | | |
| そ の 他 | | | |
| | 前 期 | | |
| 授 業 の 概 要 | 表計算ソフト(Microsoft Office Excel 2016)の基本的なしくみと特徴（計算・グラフデータベース等）を紹介しながら、情報の整理・加工方法などの基本的な操作方法を学ぶ。 | | |
| 到 達 目 標 | 表計算ソフトの基本機能と操作方法を習得する。 サーティファイ主催 Excel 表計算処理技能認定試験 3級 の取得 | | |
| 成 績 評 価 方 法 | 期末試験(95%)、出席率(5%)で評価をつける。 | | |
| テ キ ス ト ・ 副 読 本 | 30時間でマスター Office2016 実教出版 Excel 表計算処理技能認定試験 3級問題集 (2016 対応) | | |

令和5年度 シラバス

| | | | |
|-------------------------------|--|---|-------------|
| 学 科 ・ 学 年 | ホテル・ブライダル 学科 | | 2年 |
| 科 目 名 | ユニバーサルサービス | 科 目 区 分 | 一般科目 ・ 専門科目 |
| 開 講 期 | 前期 ・ 後期 ・ 通年 | 担 当 教 員 | 坂本 恵 |
| 時 間 数 | 前期：26時間 / 後期：19時間 | | |
| 科 目 の 目 的 と 講 義 内 容 | 他者との違いを認め合い支え合う共生社会（ユニバーサル社会）であると言われており、全ての人が自己の尊厳を維持しながら安心して生活することのできる社会が求められている。サービス業を目指す上でも、相手のニーズを理解しながら自分に出来ることを判断して実行する。そして、さまざまな状況にある全ての人から顧客満足を生み出す接客、接遇ができるようになることを目的とする。 | | |
| 目指す検定・資格 | | | |
| 指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と | ダイバーシティの観点より多様な違いを尊重し認め合い、相互に理解し合うための気づきや知識を意識につなげるよう指導する。 すべての人に対して、平等な情報・円滑なコミュニケーション、心地いいサービスができることを目指す。 | | |
| そ の 他 | | | |
| | 前 期 | 後 期 | |
| 授 業 の 概 要 | ユニバーサル社会に必要な知識を身に付ける。 またサービス業を目指す上で、相手のニーズを理解しながら自分に出来ることを判断して実行できるようにし、さまざまな状況にある全ての人から顧客満足を生み出す接客、接遇ができるようにする。 | ユニバーサル社会に必要な知識を身に付ける。 またサービス業を目指す上で、相手のニーズを理解しながら自分に出来ることを判断して実行できるようにし、さまざまな状況にある全ての人から顧客満足を生み出す接客、接遇ができるようにする。 | |
| 到 達 目 標 | ユニバーサルサービスについて学習する。 視覚に不自由を感じている方、聴覚に不自由を感じている方、肢体に不自由を感じている方、高齢の方を理解し、その方に合わせた接客・接遇ができるようになる。 | 妊娠中の方、小さなお子様連れの方、外国人の方、知的障害・発達障害・精神障害の方、LGBTの方を理解し、その方に合わせた接客・接遇ができるようになる。 | |
| 成 績 評 価 方 法 | 期末試験 60% 提出物 35% 出席率 5% | 期末試験 60%(前期試験評価含む) 提出物 35% 出席率 5% | |
| テ キ ス ト ・ 副 読 本 | 接客・接遇のためのユニバーサルサービス基本テキスト 日本能率協会マネジメントセンター 紀 薫子 著 | 接客・接遇のためのユニバーサルサービス基本テキスト 日本能率協会マネジメントセンター 紀 薫子 著 | |

令和5年度 シラバス

| | | | |
|-------------------------------|---|---------|-----------|
| 学 科 ・ 学 年 | ホテル・ブライダル 学科 | | 2年 |
| 科 目 名 | プレゼンテーション演習 | 科 目 区 分 | 一般科目・専門科目 |
| 開 講 期 | 前期・後期・通年 | 担 当 教 員 | 坂本 恵 |
| 時 間 数 | 前期：36時間 / 後期：時間 | | |
| 科 目 の 目 的 と 講 義 内 容 | <p>実社会において必要なプレゼンテーション力を身に着けるための授業である。コミュニケーションが重視される社会において、人前で話すという行為は避けて通ることができない。この授業を通してプレゼンテーションの基本的な知識と技術を伝え、実践する機会を設けることでプレゼンテーション力を身につけていく。また、PowerPoint 2016の習得。</p> | | |
| 目指す検定・資格 | | | |
| 指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と | <p>プレゼンテーションを行うために準備するパワーポイント作成の授業と、発表やその構成を考へて発表を行う準備をする授業に分けて指導する。</p> <p>多くの人の前で躊躇することなく、また相手に伝わる話し方ができるようになる。</p> | | |
| そ の 他 | | | |
| | 前 期 | 後 期 | |
| 授 業 の 概 要 | <p>コミュニケーションが重視される社会において、人前で話すという行為は避けて通ることができない。この授業を通してプレゼンテーションの基本的な知識と技術を伝え、実践する機会を設けることでプレゼンテーション力を身につけていく。</p> | | |
| 到 達 目 標 | <p>聞き手を動かすプレゼンテーション力を身につける。プレゼンテーション資料としてPowerPoint2016を効果的に使うことができるようになる。</p> | | |
| 成 績 評 価 方 法 | <p>制作物(65%)、期末テスト(30%)、出席率(5%)で評価をつける。</p> | | |
| テキスト・副読本 | <p>30時間でマスター Office2016 実教出版 不安が自信に変わる話し方の教室 三オボックス</p> <p>プレゼン資料のデザイン図鑑 ダイヤモンド社</p> | | |

令和5年度 シラバス

| | | | |
|-------------------------------|--|---|-------------|
| 学 科 ・ 学 年 | ホテル・ブライダル 学科 | | 2 年 |
| 科 目 名 | ブライダルビューティー演習 | 科 目 区 分 | 一般科目 ・ 専門科目 |
| 開 講 期 | 前期 ・ 後期 ・ 通年 | 担 当 教 員 | 難波 由華 |
| 時 間 数 | 前期：28時間 / 後期：時間 | 実務経験：岡山、倉敷などのレストラン、ホテルなどの結婚式を現役で担当。また花嫁美容の勉強会 BBC、岡山ウェディング協議会に所属、全国、岡山県美容講師会にも所属しており、現場での情報や業界で求められる仕事を直に伝えることが可能である。 | |
| 科 目 の 目 的 と 講 義 内 容 | ブライダルにおける和装の基礎知識を身に付ける 留袖着付けの実習にて、着付けおよび着物の畳み方、扱い方を習得 簡単なヘアアレンジを理解する | | |
| 目指す検定・資格 | | | |
| 指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と | 毎回の課題を講師がデモンストレーションし、個別実習していく。 着付けは数回で完成する。 ヘアアレンジは毎回一つの作品を仕上げる。 | | |
| そ の 他 | | | |
| | 前 期 | 後 期 | |
| 授 業 の 概 要 | <ul style="list-style-type: none"> ・ヘアアレンジ：相モデルにて、髪や道具の扱い方を学ぶ。 ・着付け：相モデルにて、和装の基本となるお太鼓着付けを学ぶ。 それに伴い畳み方、しまい方を学ぶ。 | | |
| 到 達 目 標 | <ul style="list-style-type: none"> ・ヘアアレンジ：衣裳合わせなどで必要な簡単なヘアアレンジを4~5スタイル習得 ・着付け：お太鼓着付けの完成 | | |
| 成 績 評 価 方 法 | 期末試験(実技)50%、(学科)45% 出席率5% | | |
| テ キ ス ト ・ 副 読 本 | 「和装の装い」 | | |

令和5年度 シラバス

| | | | |
|-------------------------------|---|--|-------------|
| 学 科 ・ 学 年 | ホテル・ブライダル 学科 | | 2 年 |
| 科 目 名 | フラワーアレンジメント演習 | 科 目 区 分 | 一般科目 ・ 専門科目 |
| 開 講 期 | 前期 ・ 後期 ・ 通年 | 担 当 教 員 | 永宗 教子 |
| 時 間 数 | 前期：26時間 / 後期：時間 | ホテルビジネス専門学校からホテル業界に就職して実務経験を積む。フラワーデザインの資格をいかし講義を始め、幅広くデザインができるように指導している | |
| 科 目 の 目 的 と 講 義 内 容 | フラワーデザインの基本的な知識。 形や構成をテーマにして表現する。 | | |
| 目指す検定・資格 | | | |
| 指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と | 毎回デザインの構成理論を踏まえた上で作品を構成し 植物の知識を伝えながら指導する。 花に対する興味を持たせる。 | | |
| そ の 他 | | | |
| | 前 期 | 後 期 | |
| 授 業 の 概 要 | ブライダルで飾る花の基本形態の習得 | | |
| 到 達 目 標 | 表現結婚式での作品作りの完成度 | | |
| 成 績 評 価 方 法 | 作品(95%) 出席率(5%) | | |
| テキスト・副読本 | | | |

令和5年度 シラバス

| | | | |
|-------------------------------|---|--|-------------|
| 学 科 ・ 学 年 | ホテル・ブライダル学科 | | 2年 |
| 科 目 名 | ブライダル・コーディネート | 科 目 区 分 | 一般科目 ・ 専門科目 |
| 開 講 期 | 前期 ・ 後期 ・ 通年 | 担 当 教 員 | 土師 あやか |
| 時 間 数 | 前期： 時間 / 後期：40時間 | 実務経験：8年間結婚式場でウエディングプランナーをしていた経験を活かし、学生が、ブライダル業界の仕事に必要な知識や技術を理解できるよう講義する。 | |
| 科 目 の 目 的 と 講 義 内 容 | 1年半で学んだ、ブライダルの総まとめとして、日本で最大にして唯一のブライダル協会である、公益社団法人 日本ブライダル文化振興協会の主催する「ブライダルコーディネート技能検定3級」を取得する。 | | |
| 目 指 す 検 定 ・ 資 格 | ブライダルコーディネート技能検定3級 | | |
| 指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と | 過去問題を中心に復習を兼ねてブライダルの知識を再確認していく。 ブライダルコーディネート技能検定は国家検定でもあるため、 全員取得を目指す。 | | |
| そ の 他 | | | |
| | 後 期 | | |
| 授 業 の 概 要 | 1年半で学んだ、ブライダルの総まとめとして、日本で最大にして唯一のブライダル協会である、公益社団法人 日本ブライダル文化振興協会の主催する「ブライダルコーディネート技能検定3級」を取得する。 | | |
| 到 達 目 標 | ブライダルコーディネート技能検定3級の取得 | | |
| 成 績 評 価 方 法 | ・ 期末試験(95%)、出席率(5%)で評価をつける。 | | |
| テ キ ス ト ・ 副 読 本 | アシスタント・ブライダル・コーディネーター検定 過去問題 (ブライダルコーディネート技能検定は 2018 年度から新たにスタートしたため、授業ではアシスタント・ブライダル・コーディネーター検定 過去問題を使用。) | | |

令和5年度 シラバス

| | | | |
|-------------------------------|--|--|-------------|
| 学 科 ・ 学 年 | ホテル・ブライダル 学科 | | 2 年 |
| 科 目 名 | ホテル英会話Ⅱ | 科 目 区 分 | 一般科目 ・ 専門科目 |
| 開 講 期 | 前期 ・ 後期 ・ 通年 | 担 当 教 員 | 難波 芳子 |
| 時 間 数 | 前期：15時間 / 後期：15時間 | 実務経験： | |
| 科 目 の 目 的 と 講 義 内 容 | グローバル社会が進む中で、ホテル・ブライダル業界では英会話が必須の時代である。接客基礎英会話を身に付け、また異文化を学ぶことで、社会に出た時に外国人の方とも臆することなくコミュニケーションを取れる人材になることを目指す。 | | |
| 目指す検定・資格 | | | |
| 指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と | 日本国内においても外国人との接触場面は今後確実に増えると予測され、特に接客に携わる者にとって、英語で基本的なコミュニケーションをとる必要がますます高まる。ホテルで必要となる英会話表現を中心に学び、必要となった時に即座に英語が出るような運用力を身に付けることを目指すとともに、異文化理解を深め、多文化共生社会を生きる者としての意識を高めてほしい。 | | |
| そ の 他 | | | |
| | 前 期 | 後 期 | |
| 授 業 の 概 要 | <ul style="list-style-type: none"> ・グローバルな考え方を養う。 ・海外の映像や文献に親しむ ・アメリカンカルチャーを理解する | <ul style="list-style-type: none"> ・担当ごとに使う英語表現を覚える。 ・海外の映像や文献に親しむ ・アメリカンカルチャーを理解する | |
| 到 達 目 標 | <ul style="list-style-type: none"> ・習った表現を瞬時に口から出せるように練習する。 ・異文化について理解を深め、日本文化との違いを意識する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・習った表現を瞬時に口から出せるように練習する。 ・異文化について理解を深め、日本文化との違いを意識する。 | |
| 成 績 評 価 方 法 | 期末テスト 80%、確認テスト 15%、出席率 5% | 期末テスト 80%、確認テスト 15%、出席率 5% | |
| テ キ ス ト ・ 副 読 本 | ホテル英会話Ⅰ ー 基礎編 一般財団法人日本ホテル教育センター、 2017 | ホテル英会話Ⅰ ー 基礎編 一般財団法人日本ホテル教育センター、 2017 | |

令和5年度 シラバス

| | | | |
|-------------------------------|--|---------|-----------|
| 学 科 ・ 学 年 | ホテル・ブライダル 学科 | | 2年 |
| 科 目 名 | 一般教養Ⅱ | 科 目 区 分 | 一般科目・専門科目 |
| 開 講 期 | 前期・後期・通年 | 担 当 教 員 | 坂本 恵 |
| 時 間 数 | 前期：30時間 / 後期：時間 | | |
| 科 目 の 目 的 と 講 義 内 容 | 社会人は、物事を考えるために必要な幅広い分野における本質的概念や基礎的な知識が必要となる。あらゆる物事を考えるための基盤となる教養を身に付ける。 | | |
| 目指す検定・資格 | | | |
| 指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と | 一般教養を幅広く習得する。また、時事問題(文章読解)に興味を持ち自分の意見を述べられるように文章作成の指導をする。専門知識のみならず、教養も兼ね備えたビジネスパーソンを目指す。 | | |
| そ の 他 | | | |
| | 前 期 | 後 期 | |
| 授 業 の 概 要 | 語彙、文章読解・作成、計算問題(SPIを用いた問題)等の一般教養を身に付ける。また時事問題について興味・理解を深め、自分の考えを意見文として作成する。 | | |
| 到 達 目 標 | SPI(言語・非言語)が解けるようになる。時事に関わる記事を読み取り、問題点を自分の視点から論理的意見文を作成できるようになる。 | | |
| 成 績 評 価 方 法 | 期末テスト(95%)、出席率(5%)で評価をつける。 | | |
| テ キ ス ト ・ 副 読 本 | 数字に強くなる裏ワザ 30 / 深沢真太郎著 | | |

令和5年度 シラバス

| | | | |
|-------------------------------|--|---|-------------|
| 学 科 ・ 学 年 | ホテル・ブライダル学科 | | 2 年 |
| 科 目 名 | 卒業研究 | 科 目 区 分 | 一般科目 ・ 専門科目 |
| 開 講 期 | 前期 ・ 後期 通年 | 担 当 教 員 | 坂本 恵 |
| 時 間 数 | 前期時間 / 後期： 3 2 時間 | 実務経験：ウェディングプランナー・ドレスコーディネーターなど様々な角度からサービスに携わってきた経験を活かし、学生に業界の魅力や必要な知識を講義する。 | |
| 科 目 の 目 的 と 講 義 内 容 | ホテル・ブライダルの業界人として活躍していくにあたり今の業界の課題点を主体的に研究させ、業界の理解を深め、そして課題解決を含め想像力・提案力を高め現場で活用できる成果を上げる。 | | |
| 目指す検定・資格 | | | |
| 指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と | 学生が主体的にインターネットや文献を利用して研究を進め、パワーポイントを使用して発表を行う。主体的に研究を行う探究心と、発表を行うことによる達成感を経験させる。教師は研究に対し、経過ごとに修正をして精度を上げていく。 | | |
| そ の 他 | | | |
| | 前 期 | 後 期 | |
| 授 業 の 概 要 | | 業界に関連した内容で、現場研修、県内研修を通して知識を深めた情報を掘り起こす。 研修、調査・研究結果を通してテーマに関する現状を学ぶ。 | |
| 到 達 目 標 | | 個人研究：個人で興味のあるテーマを設定し、10分程度のプレゼンテーションを行う。 グループ研究：テーマに対して様々な角度から切り込み、学内発表会でプレゼンテーションを行う。 | |
| 成 績 評 価 方 法 | | 制作物 (95%) 出席率 (5%) | |
| テキスト・副読本 | 特になし | | |